



令和8年度

あしたのまち・ くらしづくり活動賞 レポート募集

地域が直面するさまざまな課題を自らの手で解決して、住み良い地域社会の創造をめざし、
独自の発想により全国各地で活動に取り組んでいる地域活動団体等の皆さまへ
— 活動の経験や知恵などのストーリーをレポートとしてぜひお寄せください —



～地元小学生の商店街調査～



～地域で古本交換会を毎月開催～



表彰・賞状等の贈呈(予定)

内閣総理大臣賞	1件	賞状、副賞(20万円)
内閣官房長官賞	1件	賞状、副賞(10万円)
総務大臣賞	1件	賞状、副賞(10万円)
主催者賞	5件	賞状、副賞(5万円)
振興奨励賞	20件	賞状



応募締切

令和8年

7月1日(水)



応募書類の送付先・お問い合わせ

公益財団法人あしたの日本を創る協会

〒113-0033 東京都文京区本郷2-4-7 大成堂ビル4階 URL <http://www.ashita.or.jp/>
TEL03-6240-0778 FAX03-6240-0779 Eメール: prize@ashita.or.jp

主催
後援

公益財団法人あしたの日本を創る協会 読売新聞東京本社 NHK
内閣府 総務省 文部科学省 全国知事会 全国市長会 全国町村会 日本商工会議所
全国商工会連合会 日本青年団協議会 一般財団法人長寿社会開発センター 一般財団法人日本宝くじ協会

募集の対象

地域住民が自主的に結成し運営している地域活動団体、または、地域活動団体と積極的に連携して地域づくりに取り組む企業、商店街、学校等。活動に2年以上取り組み、大きな成果をあげている団体。活動範囲は市町村地域程度まで。

応募の方法

以下の①～③の資料をEメール（prize@ashita.or.jp）でご提出ください。郵送、宅配便も可です。送付先は、あしたの日本を創る協会まで（表紙に記載）。

※応募用紙と応募レポートはできるだけWord形式でお送りください。

①応募用紙

このチラシの4ページ目にあります。または当協会ホームページからダウンロードもできます。

②応募レポート

活動内容と現在までの成果等を、2,000字程度でお書きください。

※レポートはできるだけ活動のストーリーが見えるようにお書きください。

③写真

活動の様子がわかる写真を6枚程度添付してください。

各写真の簡単な説明もつけてください。

※その他（任意）

上記以外に、活動内容を補足する文書、実施記録等がある場合には、添付してお送りください。

応募対象とする地域活動例

- ①住民同士の支えあい、地域コミュニティの維持をめざす活動など
- ②子どもの見守りや居場所づくり、子ども食堂、地域の学校との協働などによる子どもの健全な育成の活動など
- ③子育て支援、子育てネットワークづくり、世代間交流の活動など
- ④高齢者の生きがいづくりや日常生活のサポート・ケアの充実に取り組む活動など
- ⑤地域文化の振興や歴史の掘り起し・伝承する活動、町並みや棚田などの景観保全の活動など
- ⑥地域交通、公共施設の整備による快適な生活環境をつくり出す活動など
- ⑦都市と農山漁村との交流をすすめる活動、地域資源を活かした地域産業を振興する活動、過疎化対策など
- ⑧食育や地域に根ざした食文化を育む活動、地産地消をすすめる活動など
- ⑨地球温暖化防止や地域循環型社会をめざす活動、食品ロス削減に取り組む活動など
- ⑩地域スポーツの育成、住民の健康づくりの活動など
- ⑪地域防犯、地域点検などによる犯罪に強いまちづくりの活動など
- ⑫災害に強い地域づくり活動、震災復興に向けてのまちづくり活動や震災復興支援の活動など

審査および結果の発表

学識経験者、マスコミ関係者、関係省庁等で構成される審査委員会等において審査を行います。審査結果の発表は令和8年10月（予定）に、読売新聞、NHK、あしたの日本を創る協会ホームページ等で発表します。

その他

- ①応募書類は返却できません。
- ②応募レポートの執筆者は、応募団体に所属していなくてもかまいません。
- ③応募書類は、当協会ホームページや自治会町内会情報誌「まちむら」等で紹介させていただくことがあります。

近年の受賞団体の活動

「あしたのまち・くらしづくり活動賞」は、優れた地域活動をしている団体等を表彰し、受賞団体は各地の地域づくりに大きな影響を与えてきました。近年の受賞団体の活動をご紹介します。

※令和7年度受賞団体の詳細は、当協会発行の「まちむら」誌172号にも掲載しています。

<http://www.ashita.or.jp/publish/mm/mm172/mm172.htm>

<令和7年度 内閣総理大臣賞>

●新潟県新潟市中央区 沼垂テラス商店街（株式会社テラスオフィス）

商店街の前身である旧沼垂市場は、昭和中頃から青果日用品を扱う小さな市（いち）が並び賑わっていたが、徐々に市場は衰退しシャッター通りとなってしまった。こうしたまちの未来に危機感を持った一人の店主が2010年に惣菜店を開業したのを機に、カフェ、陶芸工房がオープン。メディアで注目され若い開業希望者が集まったことをきっかけにまちの再生に着手。2014年以降次々にシャッターが開く。2015年28店舗が揃い「沼垂テラス商店街」として新たにスタート、まちが蘇り交流人流が増えつつある。

<令和7年度 内閣官房長官賞>

●千葉県銚子市 一般財団法人銚子円卓会議

同会は約10年間の活動を経て、令和6年6月、地域内外の企業、市民からのご寄付を設立資金として法人化。基本3事業－地域課題の解決に取り組む市民活動への助成事業「この指とまれ！」の実践、地域力を活かした「共助の循環備蓄OSUSOWAKE（おすそわけ）」の創造、次世代と地域をつなげるキャリア教育「DELKUI（デルクイ）」の展開－の継続的な推進を通して、市民一人ひとりの挑戦を支え、共助を育み、成長を促す土壌を耕し、市民協働による持続可能なまちづくりの基盤としての歩みを進めている。

<令和7年度 総務大臣賞>

●宮城県気仙沼市 特定非営利活動法人水梨かふえ

宮城県気仙沼市の山間部で廃校になった校舎を活用して地域づくりと福祉施設の取り組みを行っている。地域づくりは、地域との連携で、子どもの居場所づくり・子ども食堂としてのイベント水梨キッズかふえを開催。法人単独で地域の高齢者の方々のサロン陽だまりかふえを実施している。福祉施設も地域の理解と協力を得ながら順調に運営している。福祉施設は福祉避難所に指定され、地域と一緒に防災活動にも目を向けている。

<令和6年度 内閣総理大臣賞>

●佐賀県佐賀市 特定非営利活動法人空家・空地活用サポートSAGA

空き家・空き地活用支援とともに、住宅確保要配慮者に空き家を提供する居住支援を行う。また、支援拠点「まちなかオフィスTOJIN館」を開設。コミュニティスペースや子どもたちが遊べるプレイルームのほか、子どもの第三の居場所「居場所そら」を設置。さらに九州初の無人フードパントリーを行う「子育て支援館『佐賀コミュニティフリッジ』」を開所。居住支援から始まった活動は、支援の拠点づくり、子どもの貧困対策、地域の活性化へと発展的に展開している。

<令和5年度 内閣総理大臣賞>

●宮城県栗原市 一般社団法人はなやまネットワーク

高齢化率が50%を超える山村において、住民アンケートを基に「花山地区『小さな拠点』づくり構想」を策定し、地域住民主体で地域課題に取り組む。交流・移住体験プロジェクトでは地域の環境に惹かれた人たちの移住を実現。空き家利活用プロジェクトでは空き家の片付けと移住者の入居を実現。生活支援では移動販売車やデマンド型乗合交通の運行、地元産品の物販やコミュニティ活動を行う拠点の運営に取り組む。令和4年度は8年ぶりの住民アンケートを行い、新たなニーズの把握や活動の改善に繋げている。

令和8年度あしたのまち・くらしづくり活動賞 応募用紙

ふりがな					
団体名					
団体代表者名		活動 開始年	昭和 平成 令和	年	メンバー 数
団体連絡先	〒 _____ 住所： いずれかに○をお付けください（ 代表者個人宅 ・ 団体事務所住所 ）				
	TEL：		FAX：		
	ホームページ				
	Eメール				
レポート 執筆者名		レポート 執筆者役職			
レポート 執筆者連絡先	〒 _____ 住所：				
	TEL：		FAX：		
	Eメール				
これまでの受賞歴					
活動分野 (複数選択可)	1. 環境・エネルギー 2. 子育て支援 3. 高齢者支援 4. 世代間交流 5. 食に関わる問題 6. 健康・医療 7. まちづくり 8. 地域資源 9. 防災・防犯 10. 交通・IT 11. その他（ ）				
本賞を何でお知りになりましたか (複数選択可)	1. 読売新聞 2. NHK 3. 後援省庁・団体の出版物等 4. NPO・市民活動支援センター等 5. 募集チラシ 6. 情報誌「まちむら」 7. 当協会ホームページ 8. 当協会からの案内メール 9. その他（ ）				
活動テーマ (20字以内)					
活動の概要 (200字程度)					

※ 応募の際は、この応募用紙のほかに、①応募レポート（活動内容と現在までの成果等を2,000字程度にまとめたもの）と、②写真（活動の様子がわかるもの6枚程度）を添付してご提出ください。

※ 応募レポートはできるだけ活動のストーリーが見えるようにお書きください。